

阪神高速道路株式会社

入札説明書(技術提案書等含む)及び設計図書等に対する質問回答書

工事名 : 豊崎工区換気所新築及び開削トンネル・下部工事 質問提出日:2020年 5月 8日 質問回答日:2020年 5月15日	
質 問	回 答
番号1 S-01 構-6コンクリート工事において、以下のコンクリートのスラン プが不明です。スランブは15と考えて宜しいでしょうか。 ・土間コンクリート ・捨てコンクリート	番号1 土間コンクリートについては、金額を記載しない設 計書P.29に記載のとおり、S15とお考え下さい。捨て コンクリートについては、「金額を記載しない設計書 P.67 地業(受電所)」に記載のとおり、S15とお考え 下さい。
番号2 S-01 S-11 軸組図において、2SL～RSL間にFc30、Fc27のコンク リート強度の記載がありますが構-6コンクリート工事では適 用の記載がなく相違します。軸組図を正と考えて宜しいで しょうか。	番号2 「図面 受S-01、11、12、13」及び「金額を記載しない 設計書P.73」を、別添正誤表のとおり修正いたしま す。
番号3 S-01 6-2混和材において、AE減水剤と高性能AE減水剤の使 用範囲が不明ですので、使用範囲を教えてくださいまし ょうか。	番号3 詳細設計にて検討する予定です。
番号4 S-10 1階柱・壁2階梁伏図において、X5/Y1-2間に梁上増打 ち(300)がありますが増打ちの補強要領が不明ですので、 増打ちの補強要領を教えてくださいまししょうか。	番号4 詳細設計にて検討する予定です。
番号5 S-17 地中梁リストにおいて、B2階FG1スターラップが図示3-D 16と書き込み6-D16で相違します。書き込み6-D16を 正と考えて宜しいでしょうか。	番号5 6-D16を正とお考え下さい。「図面 受S-17」につ いては、別添正誤表のとおり修正いたします。

質 問	回 答																																				
番号6 S-18 柱リストにおいて、図示と書き込みの配筋が相違します。以下と考えるて宜しいでしょうか。 <table><tr><td></td><td>正</td><td>誤</td></tr><tr><td>・PH階C1主筋</td><td>図12-D25</td><td>書20-D25</td></tr><tr><td>・2階C3bフープ</td><td>図X:3、Y:7</td><td>書X:3、Y:3</td></tr><tr><td>・3階C3cフープ</td><td>書X:8、Y:3</td><td>図X:2、Y:2</td></tr></table>		正	誤	・PH階C1主筋	図12-D25	書20-D25	・2階C3bフープ	図X:3、Y:7	書X:3、Y:3	・3階C3cフープ	書X:8、Y:3	図X:2、Y:2	番号6 下記を正とお考え下さい。 ・PH階C1主筋 12-D25 ・2階C3bフープ X:3、Y:3 ・3階C3cフープ X:8、Y:3 「図面 受S-18」については、別添正誤表のとおり修正いたします。																								
	正	誤																																			
・PH階C1主筋	図12-D25	書20-D25																																			
・2階C3bフープ	図X:3、Y:7	書X:3、Y:3																																			
・3階C3cフープ	書X:8、Y:3	図X:2、Y:2																																			
番号7 S-19 大梁リストにおいて、図示と書き込みの配筋が相違します。以下と考えるて宜しいでしょうか。 <table><tr><td></td><td>正</td><td>誤</td></tr><tr><td>・RF階G1主筋</td><td>書7-D25</td><td>図6-D25</td></tr><tr><td>・RF階G1a主筋</td><td>書7-D25</td><td>図6-D25</td></tr><tr><td>・B1階G1bスターラップ</td><td>書4-D16</td><td>図2-D16</td></tr><tr><td>・B1階G1cスターラップ</td><td>書8-D16</td><td>図2-D16</td></tr><tr><td>・2階G1cスターラップ</td><td>書7-D16</td><td>図2-D16</td></tr><tr><td>・2階G1eスターラップ</td><td>書4-D16</td><td>図2-D16</td></tr><tr><td>・2階G1fスターラップ</td><td>書7-D16</td><td>図2-D16</td></tr><tr><td>・2階G2スターラップ</td><td>書3-D16</td><td>図2-D16</td></tr><tr><td>・RF階G2主筋</td><td>書7-D25</td><td>図6-D25</td></tr><tr><td>・B1階G2a巾止筋</td><td>D10@1000</td><td>図 無し</td></tr><tr><td>・2階G2fスターラップ</td><td>書3-D16</td><td>図2-D16</td></tr></table>		正	誤	・RF階G1主筋	書7-D25	図6-D25	・RF階G1a主筋	書7-D25	図6-D25	・B1階G1bスターラップ	書4-D16	図2-D16	・B1階G1cスターラップ	書8-D16	図2-D16	・2階G1cスターラップ	書7-D16	図2-D16	・2階G1eスターラップ	書4-D16	図2-D16	・2階G1fスターラップ	書7-D16	図2-D16	・2階G2スターラップ	書3-D16	図2-D16	・RF階G2主筋	書7-D25	図6-D25	・B1階G2a巾止筋	D10@1000	図 無し	・2階G2fスターラップ	書3-D16	図2-D16	番号7 下記を正とお考え下さい。 ・RF階G1主筋 7-D25 ・RF階G1a主筋 7-D25 ・B1階G1bスターラップ 4-D16 ・B1階G1cスターラップ 8-D16 ・2階G1cスターラップ 7-D16 ・2階G1eスターラップ 4-D16 ・2階G1fスターラップ 7-D16 ・2階G2スターラップ 3-D16 ・RF階G2主筋 7-D25 ・B1階G2a巾止筋 D10@1000 ・2階G2fスターラップ 3-D16 「図面 受S-19」については、別添正誤表のとおり修正いたします。
	正	誤																																			
・RF階G1主筋	書7-D25	図6-D25																																			
・RF階G1a主筋	書7-D25	図6-D25																																			
・B1階G1bスターラップ	書4-D16	図2-D16																																			
・B1階G1cスターラップ	書8-D16	図2-D16																																			
・2階G1cスターラップ	書7-D16	図2-D16																																			
・2階G1eスターラップ	書4-D16	図2-D16																																			
・2階G1fスターラップ	書7-D16	図2-D16																																			
・2階G2スターラップ	書3-D16	図2-D16																																			
・RF階G2主筋	書7-D25	図6-D25																																			
・B1階G2a巾止筋	D10@1000	図 無し																																			
・2階G2fスターラップ	書3-D16	図2-D16																																			
番号8 S-09 B2階基礎梁伏図において、通り芯と柱芯にずれがあると思われませんが寸法が不明です。通り芯と柱芯にずれがある場合の寸法をご教示ください。	番号8 「図面 受S-09」を、別添正誤表のとおり修正いたします。																																				
番号9 S-09 S-11~S-13 B2階柱・壁、基礎梁伏図において、以下の範囲で軸組図と相違します。すべて伏図を正と考えるて宜しいでしょうか。 <table><tr><td></td><td>伏図</td><td>軸組図</td></tr><tr><td>・X5/Y1柱</td><td>B2C1b</td><td>B2C1c(X5通り軸組図)</td></tr><tr><td>・X6-X7/Y1基礎梁</td><td>FG1d</td><td>FG1c(Y1通り軸組図)</td></tr></table>		伏図	軸組図	・X5/Y1柱	B2C1b	B2C1c(X5通り軸組図)	・X6-X7/Y1基礎梁	FG1d	FG1c(Y1通り軸組図)	番号9 下記を正としてください。 ・X5/Y1柱 B2C1b ・X6-X7/Y1基礎梁 FG1d 「図面 受S-11、13」については、別添正誤表のとおり修正いたします。																											
	伏図	軸組図																																			
・X5/Y1柱	B2C1b	B2C1c(X5通り軸組図)																																			
・X6-X7/Y1基礎梁	FG1d	FG1c(Y1通り軸組図)																																			
番号10 S-09 S-13 1階柱・壁、梁伏図において、X8/Y2-Y3間に1G2cがありますがX8通り軸組図では1G2aとなり相違します。伏図(1G2c)を正と考えるて宜しいでしょうか。	番号10 両方とも「1G2c」と記載しており、相違はありません。																																				

質 問	回 答															
番号11 S-10 S-11~S-13 1階柱・壁、2階梁伏図において、以下の範囲で軸組図と相違します。すべて伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 <table><tr><td></td><td>伏図</td><td>軸組図</td></tr><tr><td>・X3-X5/Y1壁</td><td>EW50</td><td>EW55(Y1通り軸組図)</td></tr><tr><td>・X3-X5/Y4壁</td><td>EW60</td><td>EW70(Y4通り軸組図)</td></tr><tr><td>・X2-X3/Y5小梁</td><td>b1</td><td>b3(Y5通り軸組図)</td></tr><tr><td>・X5-X6/Y5小梁</td><td>b1</td><td>b3(Y5通り軸組図)</td></tr></table>		伏図	軸組図	・X3-X5/Y1壁	EW50	EW55(Y1通り軸組図)	・X3-X5/Y4壁	EW60	EW70(Y4通り軸組図)	・X2-X3/Y5小梁	b1	b3(Y5通り軸組図)	・X5-X6/Y5小梁	b1	b3(Y5通り軸組図)	番号11 下記を正としてください。 ・X3-X5/Y1壁 EW55 ・X3-X5/Y4壁 EW70 ・X2-X3/Y5小梁 b1 ・X5-X6/Y5小梁 b1 「図面 受S-10,12」については、別添正誤表のとおり修正いたします。
	伏図	軸組図														
・X3-X5/Y1壁	EW50	EW55(Y1通り軸組図)														
・X3-X5/Y4壁	EW60	EW70(Y4通り軸組図)														
・X2-X3/Y5小梁	b1	b3(Y5通り軸組図)														
・X5-X6/Y5小梁	b1	b3(Y5通り軸組図)														
番号12 S-10 S-12 2階柱・壁、3階梁伏図において、X2-X3、X5-X6/Y5間にb1がありますがY5通り軸組図ではb3となり相違します。伏図(b1)を正と考えて宜しいでしょうか。	番号12 b1を正とお考え下さい。 「図面 受S-12」については、別添正誤表のとおり修正いたします。															
番号13 S-10 S-12 2階柱・壁、3階梁伏図において、X2/Y2-Y3間にEW30がありますがX8通り軸組図ではW20となり相違します。伏図(EW30)を正と考えて宜しいでしょうか。	番号13 X8/Y2-Y3間の壁は、W20を正とお考え下さい。 「図面 受S-10」については、別添正誤表のとおり修正いたします。															
番号14 S-10 S-12 3階柱・壁、4階梁伏図において、X2-X3、X5-X6/Y5間にb1がありますがY5通り軸組図ではb3となり相違します。伏図(b1)を正と考えて宜しいでしょうか。	番号14 b1を正とお考え下さい。 「図面 受S-12」については、別添正誤表のとおり修正いたします。															
番号15 A-18 A-19 平面図において、消火水槽及び湧水ピットに釜場がありますが配筋が不明ですので釜場の配筋をご教示ください。	番号15 詳細設計にて検討する予定です。															
番号16 S-16 杭頭補強筋仕様書において、中詰めコンクリートの記載がありますが下端レベルが不明です。中詰めコンクリートの下端レベルをご教示ください。	番号16 杭底までとお考え下さい。															
番号17 S-20 以下の範囲に設備基礎がありますがコンクリート強度が不明です。コンクリート強度はFc21スランプ18と考えて宜しいでしょうか。 ・B1階消火ポンプ室 ・B1階トンネル消火ポンプ室 ・R階目隠しルーバー基礎	番号17 R階目隠しルーバー基礎は、Fc30、スランプ18とお考え下さい。 B1階消火ポンプ室及びB1階トンネル消火ポンプ室の基礎は、詳細設計にて検討する予定です。															

質 問	回 答
番号18 A-18 A-19 2～R階平面図において、設備基礎がありますが寸法が不明ですので、設備基礎の寸法をご教示ください。 ・2階トランス室 ・3階電気室、ジェットファン盤室 ・4階電気室、通信機械室 ・R階室外機置場	番号18 2階トランス室、3階電気室、ジェットファン盤室、4階電気室、通信機械室の設備基礎の寸法については、2020年5月8日掲載の質問回答書「番号20」を参照して下さい。 R階室外機置場の基礎の寸法については、W300×D1200 ×H750とお考え下さい。
番号19 S-20 パラペット配筋詳細図において、立上り部分の配筋が不明です。 D10@200ダブルと考えて宜しいでしょうか。	番号19 ご質問のとおりとお考え下さい。
番号20 A-24 煙突部詳細図において、立上りの記載がありますが仕様が不明です。以下と考えて宜しいでしょうか。 ・厚150 ・D10@200ダブル 頂部2－D13 ・水切りW150×H200 ・アゴ筋 短辺D10@200シングル 長辺1－D13	番号20 詳細設計にて検討する予定です。
番号21 A-19 屋上平面図において、室外機置場にある設備基礎上にベース下モルタルが必要と思われますが大きさが不明ですので、ベース下モルタルの大きさをご教示ください。	番号21 詳細設計にて検討する予定です。
番号22 A-19 屋上平面図において、室外機置場にある設備基礎上にアンカーボルトが必要と思われますが仕様が不明です。アンカーボルトの仕様をご教示ください。 ・径 ・本数 ・定着長さ	番号22 詳細設計にて検討する予定です。
番号23 S-09 B1階柱・壁、基礎梁伏図において、X3－X4/Y4－Y5間に階段がありますが仕様が不明ですので、階段の仕様をご教示ください。 ・配筋 ・段部スラブ厚	番号23 段配筋：イナズマ・配力筋D10@200 段鼻筋：2-D16 蹴込筋：1-D10 踊り場配筋：主筋 上D13@200 下D13・D10@200 配力筋 上下共D10@200 段部（踊り場共）スラブ厚：150mm とお考え下さい。
番号24 S-12 S-20 Y4通り軸組図において、1階EW70(X4－X5間)に開口がありますが開口補強筋が不明です。開口補強筋はEW75に倣うものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号24 詳細設計にて検討する予定です。

質 問	回 答
番号25 A-23 ピット天井 コンクリート打放し補修はC種と考えて宜しいでしょうか。	番号25 B種とお考え下さい。
番号26 A-17 仕上表 地下部分の備考欄に記載の側溝立上りは塗膜防水(X-2)W200、H100と考えて宜しいでしょうか。	番号26 詳細設計にて検討する予定です。
番号27 A-17 仕上表 地下部分の備考欄に記載の側溝立上りからの排水経路をご教示ください。	番号27 2020年5月8日掲載の質問回答書「番号38」を参照して下さい。
番号28 0 ガラスウールの下地RC面はコンクリート打放補修(B種)と考えて宜しいでしょうか。	番号28 打放し面補修は不要とお考え下さい。
番号29 A-17 3階電気室、4階電気室、通信機械室壁の断熱材の範囲は壁、梁とし、柱部分は断熱材はないものと考えて宜しいでしょうか。	番号29 壁、梁、柱の全ての範囲とお考え下さい。
番号30 参考明細書__金属工事 A-17 天井点検口の箇所数が参考明細書と仕上表で異なります。仕上表を正とし4箇所と考えて宜しいでしょうか。	番号30 「建築設計図 受A-17」を正とお考え下さい。「金額を記載しない設計書P.86」を、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号31 参考明細書__金属工事 A-18、19 バリカーの箇所数が参考明細書と平面図で異なります。平面図を正とし、 2階:8箇所 3階:2箇所 4階:2箇所 合計12箇所と考えて宜しいでしょうか。	番号31 「建築設計図 A-18、19」を正とし、バリカーの箇所数は2F:20か所、3F:5か所、4F:5か所の合計30か所とお考え下さい。「金額を記載しない設計書P.87」を、別添正誤表のとおり修正いたします。

質 問	回 答
番号32 参考明細書__金属工事 マンホール蓋φ600の仕様が参考明細書でT-2とT-25の2種類記載されています。ピロティー部分のマンホール蓋の仕様をT-25と考えて宜しいでしょうか。	番号32 ピロティの車路・駐車スペース部(Y1-Y3)のマンホールについては、T-25とお考え下さい。 その他の一般部(Y3-Y4)のマンホールについてはT-2とお考え下さい。
番号33 参考明細書__金属工事 参考明細書に吊フックの記載があります。吊フックが必要ならば、仕様、箇所数をご教示ください。	番号33 「金額を記載しない設計書P.87 金属(受電所)」に記載のとおりとお考え下さい。
番号34 参考明細書__内装工事 参考明細書 内装工事よりOAフロア下の防塵塗床は平滑仕上とし、その他の部分は防滑仕上と考えて宜しいでしょうか。	番号34 ご質問のとおりとお考え下さい。
番号35 A-18 1階部分の建物周囲、柱周囲及び梁底の仕上が不明です。建物周囲は石貼、柱及び梁は打放し素地として宜しいでしょうか。	番号35 ご質問のとおりとお考え下さい。
番号36 A-19 屋根排水溝の幅は250として宜しいでしょうか。	番号36 ご質問のとおりとお考え下さい。
番号37 0 参考内訳書に記載がある以下の①～④項目において、図面には記載がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は仕様及び数量等の詳細をご教示ください。 ①屋上吊環 ②ルーバー扉 ③屋上出入口踏台 ④樋受石	番号37 ①～④については、必要とお考え下さい。 仕様及び数量については、 ①「金額を記載しない設計書P.85 金属(受電所)」に記載のとおりとお考え下さい。 ②「金額を記載しない設計書P.86 金属(受電所)」に記載のとおりとお考え下さい。 ③「金額を記載しない設計書P.97 ユニット及びその他(受電所)」に記載のとおりとお考え下さい。 ④「金額を記載しない設計書P.80 既製コンクリート・防水・石(受電所)」に記載のとおりとお考え下さい。
番号38 A-19 屋根にハト小屋2ヶ所記載がありますが、開口部の詳細が不明です。参考内訳に記載のコンクリートブロック厚100の上にモルタル塗+複層塗材Eとして宜しいでしょうか。	番号38 ご質問のとおりとお考え下さい。

質 問	回 答
番号39 A-18 車路の車止めの仕様をご教示ください。	番号39 「金額を記載しない設計書P.97 ユニット及びその他(受電所)」に記載のとおりとお考え下さい。
番号40 A-19 屋上点検タラップの仕様及びH寸法をご教示ください。	番号40 仕様については、2020年5月8日掲載の質問回答書「番号45」にて追加した図面を参照してください。H寸法については、「金額を記載しない設計書P.86 金属(受電所)」に記載のとおり、H=3600程度とお考え下さい。
番号41 A-16 オーバーフロー管の長さはL=200として宜しいでしょうか。	番号41 「金額を記載しない設計書P.86 金属(受電所)」に記載のとおり、L=200程度とお考え下さい。
番号42 0 外壁の主仕上は石貼(乾式工法)ですが、内側コンクリート面の打継及び誘発目地シーリングは必要と考えて宜しいでしょうか。 又、誘発目地シーリングが必要な場合はピッチは3000として宜しいでしょうか。	番号42 打ち継ぎ目地シーリングについては、「金額を記載しない設計書P.81 既製コンクリート・防水・石(受電所)」に記載のとおり必要とお考え下さい。誘発目地については、不要とお考え下さい。
番号43 A-28 外構計画図において、下記の項目の詳細図が見当たらないので、それぞれの詳細図をご教示ください。 1)コンクリート舗装(25t耐圧) 2)アスファルト舗装(25t耐圧) 3)RC塀(H500) 4)RC塀(H1800) 5)メッシュフェンス(H1800)+フェンス基礎(H100) 6)門扉(コンクリート基礎等) 7)コンクリート会所(現場打ち・深さ等) 8)VP管(砂巻き・コンクリート巻き等) 9)HP管(砂巻き・コンクリート巻き等) 10)燃料タンク	番号43 詳細設計にて検討する予定です。
番号44 A-28 外構計画図において、受電所東側の記入無き排水管はHP管と考えて宜しいでしょうか。	番号44 ご質問のとおりとお考え下さい。
番号45 A-09 建築工事特記仕様書(9)の植栽工事において、植栽基盤の整備ではA種又はB種になっておりますが、植込み用土が客土で食い違います。植栽基盤の整備に倣って、A種又はB種と考えて宜しいでしょうか。	番号45 ご質問のとおりとお考え下さい。